Osaka Judo Therapist Association
社団法人
大阪府柔道整復師会

大阪柔整ニュース

Vol.158　2008.7

〒550-0004 大阪市西区靱本町3丁目10番3号・TEL（06）6444−4151・http://www.osaka-jyusei.or.jp/・E-mail:ojta@osaka-jyusei.or.jp

「柔整の現在と将来」について語る

第2回大阪ブロック学会　水野　肇氏

5月18日（日）大阪柔整会館において、「第2回大阪ブロック学会」が開催された。

当日は、557名（主催者発表）の会員、学生、一般参加者が参集した学会となった。

開会式では、鐘野 哲士大阪ブロック会会長の挨拶に続き、信原 克哉日本柔道整復接骨医学会会長を始め、来賓の方々が祝辞を述べられた。

開会式に引き続き、医事評論家 水野 肇氏による「柔整の現在と将来」と題した特別講演が行われた。内容は、次のようなものである。

柔整は、いま、㊟「累卵之危」の中にある。数百年の伝統と歴史を持っている柔整は、同時に将来への分水嶺にも立っている。一番大きな理由は、柔整の養成学校の激増である。林立などという生易しいものではない。養成人数だけを十年前と比較すると、十倍近くなっている。このような無茶苦茶な定員増になったのは、各学校経営者の間で「柔整はもうかる」ということから、どこもかしこも柔整の養成をはじめたためである。おまけに、生徒に高度な教育を与えず、卒業生の質も良くない。このままでは、数百年の伝統を誇る柔整は死滅する恐れしかない。そんな中、（社）大阪府柔道整復師会が設立した四年制の養成校は、時代の、世の中の要請であり意義がある。

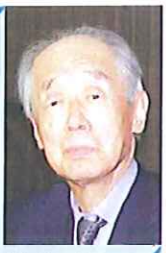
このように柔整の世界は危機を迎えているというのだが、一方では、ここを乗り切ると柔整の未来はかなり洋々としている点もある。数年前だが、WHO（世界保健機構）では、柔道整復を「Judo Therapy」という伝統医学として紹介している。これは柔整にとって画期的なことである。

柔整は、WHOにより世界に認められたことを核として新しい展開を図るべきだと私は思う。たとえば大学医学部の多くに柔整の講座を設置するようにし、そこを基点として「柔整学」を構築し、研究者を養成するとともに学会誌を発行し『勉強する柔整』という姿勢を示すべきである、と語られた。

尚、特別講演・会員の研究発表の詳しい内容については、後日「論文集」として発行される。

（広報　黒田 邦男）

㊟「るいらんのき」＝きわめて危険な状態を言う。積み上げた卵はいつ崩れてもおかしくない。



プロフィール：1927年大阪生まれ　1948年大阪外語大学卒後、山陽新聞社入社、1962年同退社。退社後、医学・医事問題のフリーライターとなり、税制調査特別委員、NHK解説委員、社会保険審議会委員、医療審議会、医療保険福祉審議会、医道審議会を経て、現在医事評論家。

帰一賞

鐘野 哲士会員は永年にわたり、柔道整復師の発展に寄与されました。

そのご功績により、6月8日（日）の日整総会において、日整最高栄誉賞である「帰一賞」を受賞されました。

※帰一賞　「帰一賞」は、嘉納 治五郎先生の雅号「帰一斎」と、『整骨新書』の著者であり、江戸時代の整骨医の中で学識人格共に優れた各務 文献先生の雅号「帰一堂」の双方に因んで命名され、柔道整復師界の発展に著しく寄与した会員に贈られるとして、昭和46年に制定されました。

目　次

通常総会開催 …… 2
厚生労働大臣表彰受賞者
祝賀会開催 …… 3
整論 …… 4
第20回大阪柔整少年柔道大会 … 5
ブロック通信 …… 8
第1回代議員会報告 …… 11
全日本女子柔道強化合宿開催 … 12

平成20年度通常総会開催

6月14日(土)午後3時より、本会5階大ホールにおいて、平成20年度通常総会が開催された。

水山 英明総務部長の司会進行により昨年の総会以後に物故された会員7名に黙祷が捧げられたあと、安田 剛副会長により開会が宣言された。

阪本 武司会長の「より一層の柔道整復師のモラル向上と、コンプライアンス(法令遵守)」の挨拶の後、終身会員に関する規定により、5名の会員に称号の付与と記念品が贈呈された。

続いて議事に入るにあたり定款に基づいて議長に増井 英明会員(福島)、副議長に藤森 厚志会員(北河内)が選出され登壇した。

議長より6月1日現在の会員数1889名、総会に必要な定足数945名、出席会員数117名、書面評決者613名、評決委任者427名、合計1157名と発表があり、定足数の充足が確認され、定款第24条により総会成立が宣言された。また議事録署名人には川村 幸代会員(京阪)、渡辺 真澄会員(貝塚)が選出され議事に移った。

【議事】

1、議事

第1号議案
附属大阪府柔道整復師会専門学院の専修学校設置認可申請の件

2、報告事項

第1号報告
平成19年度事業報告書承認の件

第2号報告
平成19年度収支決算報告書承認の件

第3号報告
平成19年度事業及び決算の監査報告の件

第4号報告
平成20年度事業計画書承認の件

第5号報告
平成20年度収支予算書承認の件

3、その他

第1号議案が前羽 公平副会長から説明があり賛成多数により承認されたあと、報告事項に移った。第1号から第3号報告は関連事項のため一括とする事とし、長井 啓二総務理事、徳久 輝明財務部長よりそれぞれ報告された。井上 泰三・滝口 正記両監事により平成19年度事業及び決算について監査の結果、適正であったと報告された。

第4号・第5号報告についても一括とし、それぞれ担当理事より報告された。

3、その他において、近畿ブロックより大阪ブロックが独立したことに伴う大阪互助会の規定改正等の承認の件が担当理事より報告され、数件の質疑応答があった。

寺本 欽弥副会長の閉会の辞で総会は滞りなく終了した。

(広報　熨斗 常栄)

終身会員

熨斗 秀治会員
(三島)

中上 正男会員
(淀川)

本部 朝正会員
(貝塚)

北野 博会員
(天王寺)

田中 恵司会員
(堀江)

厚生労働大臣表彰受賞者 祝賀会開催

5月10日(土)午後4時、天王寺区シェラトン都ホテル大阪4階「浪速の間」において、(社)大阪府柔道整復師会主催による「厚生労働大臣表彰 受賞者祝賀会」が150名の方がたにご臨席いただく中、盛大に開催された。

シェラトン都ホテル大阪「浪速の間」

【厚生労働大臣表彰】
(公衆衛生事業功労者)
田邊 美彦会員(豊能)
(柔道整復業務功労者)
箱井 義明会員(天王寺)
井上 泰三会員(住江)
楯川 徳一会員(住江)
以上本会4名の会員が、おのおの2月と3月に栄えある厚生労働大臣表彰を受賞された。

主催者である阪本 武司会長の挨拶後、ご来賓を代表し中馬 弘毅衆議院議員、川条 志嘉衆議院議員、大島 章府議会議員、大丸 昭典自民大阪市会柔道整復師振興議員連盟会長よりご祝辞を賜った。

続いて受賞者に記念品贈呈、花束贈呈、そして受賞者の謝辞があり、「表現学の真髄GENKON言魂」の著者である学校法人高山 精雄杏文学園理事長のご発声により乾杯、祝宴に入った。

開宴中受賞者は、ご親族や地元の議員団・ブロックの会員とテーブルを囲み、歓談が続いた。

今回の受賞は受賞者本人、或いはご家族の皆様の名誉だけでなく、我が社団法人大阪府柔道整復師会会員一同の名誉であり、誇りと受け止めております。

当日、箱井先生は体調が悪くご欠席でしたが、今回受賞された4名の会員の方がたは、地域医療に携わり、地域の人々に愛され、本会や日整の役員として精進された結果だと思われます。業界の将来のためにも、こういった先輩方がこれからもたくさん輩出される事を、切にご祈念申し上げます。

(広報　細川 泰山)

(阪本氏)　(井上氏)　(鐘野氏)　(楯川氏)　(田邊氏)

箱井 義明会員

箱井 義明会員のプロフィール

昭和3年2月12日生れ
昭和22年　免許取得
同年　本会に入会
昭和41年　本会理事就任
昭和62年　本会副会長就任
昭和53年　日整会長表彰
昭和58年　厚生省大臣表彰
昭和60年　本会会長表彰
平成13年　大阪府知事表彰

井上 泰三会員のプロフィール

昭和3年6月28日生れ
昭和33年　免許取得
同年　本会に入会
昭和45年　本会理事就任
昭和52年　日整代議員就任
昭和60年　本会会長表彰
昭和63年　日整会長表彰
平成17年　大阪府知事表彰

田邊 美彦会員のプロフィール

昭和20年11月23日生れ
昭和42年　免許取得
同年　本会に入会
昭和52年　本会理事就任
平成元年　日整代議員就任
平成2年　本会会長表彰
平成5年　日整会長表彰
平成13年　大阪府知事表彰

楯川 徳一会員のプロフィール

昭和25年3月20日生れ
昭和46年　免許取得
昭和50年　本会に入会
昭和62年　本会理事就任
平成13年　日整代議員就任
平成13年　本会会長表彰
平成13年　大阪府知事表彰
平成15年　日整会長感謝状

整論

広報部長　前田 真司

柔道整復師道

柔道整復師養成学校の認可の規制緩和、それによる商業的乱立で「爆発的な柔整師数の増加」の影響が、いよいよ到来して来た。今まで我々が真直ぐに歩いてきたこの道がマナー教育を受けぬ歩行者で混雑し、先の見通しが利かなくなっている。

特にこの数年、個人契約や他団体の整骨院等でよく目にする違法な看板や噴飯物のキャンペーンのチラシや広告。また、資本力のある企業等が、投資としてリラクゼーションやリフレッシュを謳いマッサージサロン化した整骨院を開業させ社会に対して誤った認識を与えることとなっている。医療とはかけ離れた出鱈目で品位なき算術を主義とする開業が相次ぐ。

日本古来の医術を誇りとする我々の先達は、地域社会において「活力・公正・節度」のような精神の葛藤のなか「良識」を常に備えるよう努め、長期にわたり苦労され医療を施すことで支持を得、現在の柔道整復師の価値と信頼・社会的地位をその精神の内で築いてこられた。

昨今の多様な価値で、「平衡感覚」のない言動を続けると、柔道整復師の社会的な信頼と承認は失われることになる。

一連のマスコミ報道

昨年より近畿圏のTV（ムーヴ）で数回、最近では、全国版「朝日新聞」の朝刊トップで、現在のすべての整骨院の運営や請求がこうであると、映像とエビデンスで諸問題を提示し報道された。

これらをご覧になった長年医術をもって「患者の痛みをとり社会復帰を促す」旨で真面目に歩んできた輩は、胸中穏やかでは居れないと察する。

これら諸問題は、**一昔以前の柔道整復師のほとんどが、社団に所属している時代には、無かったのである。**

公益社団法人

（社）大阪府柔道整復師会では、昭和35年の設立から新入会者に対し「柔道整復師法」を遵守する看板や広告等を含めた適正な開業と運営の指導や、「保険制度」や「適正な請求」の学習のために、一定期間の研修や個別指導を行っているが、個人や他団体の柔道整復師においては、これら教育的な事柄は「無」と考えるのが適当である。

また、厚生労働省や行政機関からの適正な運営に関する通達や通知は、直接には個人開業者には届いていない。

現在、約1，900名が所属する（社）大阪府柔道整復師会であるが、府下全体の柔道整復師数は、5，000名を超え、すごい勢いで増加を続けている。このほとんどが個人の開業者である。この問題は、新規開業の柔道整復師が近年の業界の歴史に対しての知識の無さが根底にあり社団の弱体化がモラル低下に影響していると考えられる。大阪社団では、**卒後教育**の重要性を訴え、すべての柔道整復師が所属するよう躍起になり努力をしているが、現代の社会的風潮である「自由で身勝手」がそうさすのか、地域社会のための公益事業や業界発展の共益事業への「貢献や奉仕」には、時間を使いたくないのか、大阪社団への入会は、毎年増えているものの、残念ながらゆるやかである。

資質低下

養成校増加の問題に対しては、倫理綱領からかけ離れた商業目的で設立される学校が増えており、質の向上が図られておらず問題として取り上げられるべきである。本年も柔道整復師養成学校がさらに2校開校すると聞くが、今後も続くであろう「整骨院過剰時代」に歯止めをかけ、卒後の社会や制度教育・学術的教育を全体的な組織で行わねば、社会的・専門的資質の低下は進み、またマスコミに問題提起され報道として取り上げられることになる。

かつて、人格の在り方を福沢諭吉は「私徳と公徳」に分け、私徳は、「人間の内心」に在り「真実・潔白・謙遜・律儀」と考え、たいして公徳は、他者との交際において発揮されるもので、「廉恥、公平、正中、勇強」とから成るとみなしています。**「他者の承認」あるいは「他者からの信頼」は、公徳が発揮されたときにはじめて、保証されると説いています。**

我々社団会員は、柔道整復師という共同の価値が、社会的により向上し承認されるよう今まで通り誇りを持ち公徳を発揮し「府民の健康と豊かな町づくり」のため公益事業と健全な地域医療に貢献するだけである。

次に出るマスコミ報道には、我々の公益事業を取り上げていただきたいものである。

第20回大阪府知事杯争奪 大阪柔整少年柔道大会

―小学生の部高学年個人戦・低学年団体戦―

6月22日（日）午前9時より大阪柔整会館5階柔道場において、（社）大阪府柔道整復師会の主催／大阪府・大阪市、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、大阪府柔道連盟、大阪府柔道道場連盟の後援／大阪府柔道整復師協同組合の協賛で、団体戦（1～3年生）35チーム、個人戦（4～6年生）126名が参加して盛大に開催された。

早朝より闘志を内に秘めた少年少女たちは、試合前のアップを十分に行い、2階の観覧席には応援の家族らが、我が子の活躍を見守る中、東畠憲之大会副委員長の号令で選手整列。田中 義昭柔道部長の開会宣言、安田 剛副会長が『礼儀正しく両親や先生、友人にきちんと挨拶できる人に、柔道を通して学んでください』と開会の挨拶、大会運営に携わる方がたに謝辞を述べた。

来賓紹介の後、杉田 幹雄審判長から試合上の注意、今村 正剛君（成康館道場）による選手宣誓、開会式が終了後、2試合場に分かれてトーナメント方式で、団体戦と学年別個人戦が行われた。

試合中は監督やコーチからの熱い指導を背に受け、日頃の稽古の成果を遺憾なく発揮した。

閉会式で成績発表と表彰式が執り行われ、本大会は成功裡に終了した。

また、今村 達哉・東部 雄大・樋口 裕大・高原 佑樹・文野 浩樹の5選手は大阪代表チームとして、10月13日（体育の日）講道館で開催される「第17回 日整全国少年柔道大会」に出場する。悔いのない活躍を期待します。

柔道を通して少年少女の健全な人間形成に、社団大阪はその重責を感じ、継続して本大会を運営していきます。（成績別項掲載）

（広報　常門 裕明）

団体戦35チームと個人戦126名の熱い戦い！

優秀選手

日整代表選手

宣誓、今村 正剛
（成康館道場）

小学生低学年の部（団体戦）

三位　ニュージャパン柔道クラブ

優勝　ミキハウス柔道教室

三位　弥刀少年柔道クラブ

準優勝　ブレイザーズ柔道クラブ

小学4年生（個人戦）

三位　松本 達也
（守口東部少年柔道教室）

三位　安田 夢飛
（ミキハウス柔道教室）

準優勝　大楠 渓一郎
（修養館 野遠柔道場）

優勝　今村 違哉
（成康館道場）

小学5年生（個人戦）

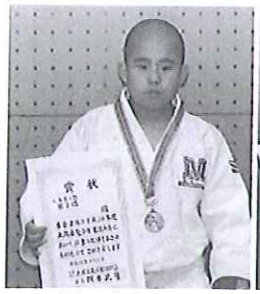
三位　廣井 克匡
（ミキハウス柔道教室）

三位　山本 遼介
（ミキハウス柔道教室）

準優勝　樋口 裕大
（ミキハウス柔道教室）

優勝　東部 雄大
（ミキハウス柔道教室）

小学6年生（個人戦）



三位　大倉 みな斗
（ミキハウス柔道教室）

三位　安田 捷太郎
（池本道場）

準優勝　文野 浩樹
（ミキハウス柔道教室）

優勝　高原 佑樹
（守口市スポーツ少年団）

平成20年度 形講習・昇段審査会開催

6月28日（土）大阪柔整会館5階柔道場において、本会会員及び会員が推薦する、初段・2段・3段への昇段希望者一〇〇余名が集合した。

（広報　細川 泰由）

投稿

平成20年全国柔道高段者大会において 長谷川 明利会員が技術優秀賞受賞

4月28日（月）東京の講道館にて、平成20年全国柔道高段者大会が開催され、全国各地から大勢の方が参加されました。

大会は五段の部において、５４０名ほどの参加者があり、本会の附属柔道整復師専門学院で柔道の授業を担当されている、天王寺ブロック東住吉地区の長谷川 明利会員が参加されました。

結果、見事一本勝ちを収められ、五段の部での技術優秀賞受賞の21名に選考され、みごと技術優秀賞に表彰されました。おめでとうございます。

長谷川 明利会員

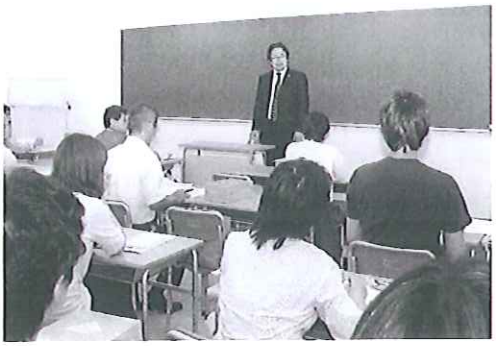
ケアマネジャー（介護支援専門員） 受験対策講座が開催

6月28日（土）大阪柔整会館4階第4教室において、ケアマネジャー受験対策講座が開催されました。今年度も月1回の5回の予定で、10月12日（日）の本試験に備えます。

現在、介護や支援を必要としている65歳以上の要介護者等の方がたは、全国で４３０万人はいるといわれています。さらに高齢化が進行する２０２５年頃には、その人数７８０万人に達するだろうと見込まれているのです。この様な現況では、まだまだケアマネジャーは不足の状態を余儀なくされているのです。

過去10回の試験で、柔道整復師は２７３５人が合格し活躍されています。我われ柔道整復師は60問中、医療（基礎）の15問は免除されます。有受験資格者（実務経験が通算5年以上で従事日数９００日以上）の会員の方がたには、ぜひチャレンジしてもらいたい。

（広報　細川 泰由）



ブロック通信

和泉ブロック

ブロック学術講演会

広報委員　田渕 健

3月29日(土)泉大津市民会館にて、朝雲 浩人岸和田盈進会病院整形外科部長を講師にお招きして、和泉ブロック学術講演会が行われました。朝雲先生は昨年11月より新設された膝関節センター所長として、ご活躍されております。同病院は岸和田市にあり、隣接している和泉ブロックの会員は、本会協力指導病院として日ごろから対診などでお世話になっています。以前より一度講演会を行っていただきたいという和泉ブロックからの強い要望にお答えいただき今回ご講演していただくことになりました。演題は「整形外科でよくみられるスポーツ外傷」プロジェクターを使用し、日常よく遭遇する膝関節損傷の臨床例、検査法、鑑別診断法等を写真データやグラフを用い、大変わかりやすく解説していただきました。講演後の質疑応答では、会員からの質問も多く飛び交い、内容の濃い講演会となりました。終了後、懇親会が開催され、日常施術において、疑問に感じている事、また、業界の問題点やあり方など、ざっくばらんにお答えいただき、色々な議論を行うことが出来ました。またこれからも協力指導病院としてサポートしていただくことをお約束して頂き、大変有意義な講演会、懇親会を行うことが出来ました事を報告させていただきます。

朝雲 浩人先生

北河内ブロック

第2回 守口門真わんぱく相撲大会 救護に参加

広報委員　常門 裕明

5月11日(日)午前9時から大阪電気通信大学高等学校 体育館において、(社)守口門真青年会議所の主催で、守口市・門真市在校の小学生412名のわんぱく力士たちが、トーナメント方式で元気よく相撲をとりました。

北河内ブロックより金生 則夫・吉田 正和(門真市担当)・黒田 邦男・常門 裕明(守口市担当)の4名の会員が救護にあたりました。

学年別で対戦するわんぱく力士たちは、身長差や体重差をものともせずに勇猛果敢に取り組み、保護者たちの喝采をあびていました。

救護に7名の負傷者がありましたが、幸い大きな怪我もなく3時すぎに無事終了しました。

相撲競技を通じ、知育、体育、徳育を実践することで、心身ともに健やかでたくましく心豊かな子どもの育成を目的とするこのわんぱく相撲大会に、今後も救護として寄与していきます。

救護を施す黒田 邦男会員

三島ブロック

第18回三島少年柔道大会 開催される

熨斗 常栄

5月25日(日)吹田市武道館(洗心館)に於いて三島ブロック主催の少年柔道大会が開催された。

今年も来賓として松浪 健太衆議院議員(祝電のみ)、渡嘉敷 奈緒美衆議院議員、井上 哲也大阪府議会議員、阿部 賞久大阪府議会議員、松本 利明大阪府議会議員、野村 義弘吹田市議会議員の皆様そして本会からは、前羽 公平副会長、安田 剛副会長をお迎えし大阪府下の柔道連盟、三島地域の各教育委員会の後援を頂戴した。

主催者の挨拶に引き続き昨年度優勝の西部柔道クラブの青木 優治君の宣誓によって熱戦の火蓋が切って落とされた。午前中は39チームによる団体戦が行われた結果今年の栄冠は守口東部少年柔道教室に輝いた。午後からは3・4・5・6年生の各学年別ブロックに別れ個人戦が行われた。

団体戦と違い、勝って笑顔になる子や負けて悔し涙を流す子もいて個人戦は皆の気合の入り方が違うように感じられた。大熱戦が繰り広げられた結果3年生の部は米田道場の畠中 良大君、4年生の部は米山道場の深山 将剛君、5年生の部は北千里柔道教室の池島 秀耶君、6年生の部は仁寿会柔道クラブの小山 寛大君がそれぞれ優勝した。表彰式では松田 直久三島ブロック会長より

青木 優治君の宣誓

吹田市武道館（洗心館）

優勝カップと賞状が優勝、第2位、第3位の各選手に手渡された。

救護ブースにも中手骨骨折や肩鎖関節脱臼を含め10名程の負傷者が出たが救護担当者により適切な処置が行われ父兄の方に喜んでいただいた。

最後に同大会に協力し盛り上げていただいた皆様に感謝申し上げますと共に今後とも応援いただきます様よろしくお願い申し上げます。

豊能ブロック

救護活動報告

広報委員　岡 喜与志

4月20日・27日に豊中市立武道館ひびきにて行われた「豊中市青少年剣道大会」に主催者より救護員派遣要請があり、20日は吉田 憲次会員・永田 雅史会員が、21日は村上 靖会員・岡 喜与志会員が豊能ブロックより派遣された。

豊中市立武道館ひびき

両日とも、練習を重ねた選手達により正々堂々とした試合が繰り広げられ、出動した会員により負傷した選手には応急処置が施された。27日はアキレス腱断裂を起こした選手もあり、新鮮外傷をみる機会もあった。

普段の練習で発生していると思われる外傷のケアの依頼もあり、こういったスポーツの現場は我々柔道整復師が救護活動を通して、地域の方々にアピールをする場なので、多くの会員の参加を望みます。

学術講習会

広報委員　岡 喜与志

5月31日（土）豊中市民会館において「介護の現状―何で介護が必要か―」をテーマに「学術講習会」が行われました。キリスト教ミード社会館 元講師 介護福祉士 日又 芳子先生を講師に招き、予定通り午後6時に始まった。

講師：日又 芳子介護福祉士

先生自身の介護にまつわる体験を中心に行われた講演でしたが、介護をする側及びされる側の心の葛藤や言葉のやりとりは我々の心を打つもので、「明日は我が身」を痛感した講演であった。

介護の必要性が叫ばれている昨今、介護の実情にふれることができた貴重な講演をありがとうございました。

難波大手前ブロック

わんぱく相撲 大阪市大会に救護で参加

細川 泰由

5月24日（土）午前8時、「2008年度第27回大阪市長杯わんぱく相撲大阪市大会」が大阪府立体育会館・第1競技場で開催された。今年も社団は救護対策室から2名（水田 英明、益永 幸夫）地元難波大手前ブロックの会員2名（足立 照剛、細川 泰由）天王寺ブロックから2名（伊藤 勇二 その他1名）、の計6名が救護班として参加した。

今回は初めて土曜日の開催となり、前回より2割減2000名の小学生の参加出場だったが、会場は児童の保護者・兄弟等応援の方がた、そして世話役ボランティア、主催者（社）大阪青年会議所の方がたの熱気でいっぱいだった。ドームアリーナ内には10個の土俵が設けられ、1・2・3年と4・5・6年の2部に分かれて、男女ごとの取り組みが行われた。4・5・6年の入賞者は6月14日（土）堺市大浜公園相撲場での大阪府決勝大会に出場し、優勝者は8月3日（日）両国国技館での全国大会に出場する。

今回の救護者は24名。わんぱく相撲の救護といえば、打撲・口の裂傷・鼻血・爪の負傷等が殆どですが、その中で左前腕橈骨下端骨折が1件あり適切に心急処置を施した。

青少年の健全育成を目的として始まった、わんぱく相撲も今年で27回目を迎え、延べ14万人が参加した。本大会が30回40回と続きますよう、社団大阪は協力してまいります。

手当をする足立 照剛会員

介護保険事業
機能訓練実践講習会　開催

過日のフォローアップ講習会に引き続き、より実践的な講習会が、4月20日（日）午後1時より大阪柔整会館において開催された。

前田 真司介護担当理事、徳山 健司保険部長の挨拶に続き早速講習会に移った。

【1部】

山崎 義彦介護保険委員が講師を務めた。（以下要約）

現行の社会保険制度は医療・介護・年金・雇用・労災の各保険があり、各自が保険料を払い、リスクを保障するシステムである。近年の高齢者増に対応して社会保険制度を維持するため、平成18年4月介護予防事業が発足した。療養費減や患者負担増により我われ柔道整復師が緊迫している中、高齢者が右肩上がりで増加し、できるだけ介護保険を使わない形にもっていきたい旨である。要支援・要介護者となる前に、元気な高齢者になってもらうため、地域支援事業に我われ柔道整復師が参入し、業務範囲の拡大に活路を見いだそうと試みるのである。

我われが行おうとする地域支援事業は、チェックリストを基に篩いにかけ、特定高齢者の候補者を対象に行うのであるが、プログラムを実施するのに従事者は、介護保険の知識、老年学の知識、運動機能、他職種の役割と業務についての知識が求められる。特定高齢者施策の場合、①評価②個別サービス計画③個別プログラムの作成を行い、3ヶ月1単位として行われる。施術所の環境面では、施術室の中を区切って機能訓練の場所を確保する必要がある。我われ柔道整復師が地域支援事業に参入するには、制度について理解し、機能訓練の知識をもつのは必須で行政の意向に沿った参入形態の提示、各地域の現状がどのような状況か把握し、提示できる機能訓練の方法を話せるようにしなければならない。

社団内のアプローチのあり方として、地域支援事業の将来性を示し、療養費の可能性、社会保障制度変革での地域支援事業の社団大阪として位置づけを示す必要がある。地域支援事業は市町村による委託事業であり、整（接）骨院で行うについて市町村に任されている裁量が大きい事業であり、そこに篩いをかけていくものである。

理想とする参入形態として、社団大阪が契約するのが望ましく、公共事業として発展の可能性や新規事業として会員の収入の安定、個人契約者との区別化は大きい。

我われが行おうとする事業の目的は、高齢者の自立支援である。どうすればより効果的な事業となるのか。有効性のある運動療法や対象者の捉え方、事業の継続性をいかに確保するかが今後の課題となるであろうと話された。

山崎介護保険委員の講習に続き、前田介護担当理事から大阪市の現状を、藤森 厚志ブロック長から北河内ブロックの取組み、茨木地区の展望を芦田 整完地区長より、堺地区の参入方法を吉木 永吉地区長からそれぞれ報告が行われた。

【2部】

北田 恵子会員

北田 恵子会員（天満城東）による運動器の機能向上実践風景のビデオを基に講習が行われ、まず対象者に聞き取り調査、バイタルチェック、身体測定、機能訓練を終えたあと再びバイタルチェックで終了する様子を、解説と資料を交えて述べ、実際問題として包括支援センターの保健師の数が足りない、医師の同意が得にくく対象者の確保が難しいなど留意点を話された。今後我われ柔道整復師が機能訓練指導員認定柔道整復師としていかに介護予防事業に参入し、活路を見いだしていくか、その方策が示された講習会であった。

（広報　常門 裕明）

学術講座開催
テーマ『誤診しないために』

4月27日（日）午後1時、大阪柔整会館5階大ホールにおいて、学術講座『誤診しないために』が開催された。今回は、日常の臨床活動において、どのようなところに注意しなければならないかという事に焦点を絞ってお二人の専門医にご講演頂いた。

川村 和哉医師

田中 篤医師

第1部はオージェイクリニック 川村 和哉整形外科医師による「整形外科医との症例検討会」、第2部は和歌山県立医科大学循環器内科 田中 篤医師による「思わぬ症状と循環器疾患」。

当日は会員並びに学生や研修生を含め160名が参加し、熱心に聴講され、終了時刻を越えての活発な質疑が行われた。

（広報　細川 泰由）

平成20年度 第1回代議員会報告

5月31日（土）午後3時より大阪柔整会館5階大ホールにおいて第1回代議員会が開催された。水田 英明総務部長の司会進行により前回の代議員会以降に物故された1名の会員のご冥福を祈り黙祷を捧げたあと開会した。

阪本 武司会長の挨拶に続き、増井 英明議長より定足数が確認され、42名（予備代議員5名）により代議員会の成立が宣言された後、議事録署名人2名を選出し議事に入った。

【議案】

1、新入会者、登録事項変更申請者、退会者について
2、平成20年度会費減免申請者追加について
3、平成20年度終身会員について
4、平成20年度事業報告書（案）について
5、平成19年度収支決算報告書（案）について
6、平成19年度事業及び決算の監査報告について
7、平成20年度修正収支予算（案）について
8、附属診療所運営委員会報告について
9、附属大阪府柔道整復師会専門学院の専修学校設置認可申請について
10、費用弁償規定変更に伴う会務報告書等の様式変更について
11、その他

1号議案については報告事項であり担当理事者より資料により報告され、2号議案についても口頭報告された。3号議案については資料により説明され承認された。4号、5号、6号議案については関連性がある為に一括審議され、質疑応答を経て承認された。7号議案についても資料により説明され承認された。

8号議案については報告事項であり質疑応答を経て承認された。9号議案については資料により説明され承認された。10号議案については資料により報告され質疑応答を経て承認された。

その他、要望があり、各部報告のあと午後5時頃代議員会は終了した。

（広報　荻澤 俊彦）

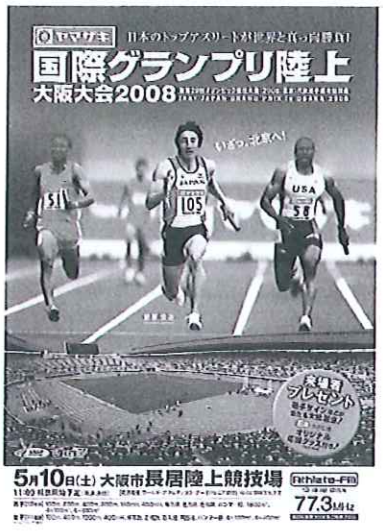
『国際グランプリ陸上・大阪大会2008』参加報告

救護対策室　小西 弘益

5月10日（土）大阪長居陸上競技場において、『国際グランプリ陸上・大阪大会2008、兼第29回オリンピック競技大会代表選手選考競技会』が開催された。

本年も大阪市体育協会より協力依頼があり、メインスタンド入り口通路にて本会・救護対策室より益永 幸夫・内藤 厳・小西 弘益の3名が参加「痛みの相談」「骨密度測定」を行いました。

当日は、オリンピック代表選手選考競技会を兼ねた大会でもあり、多数の相談者等を予定しておりましたが、悪天候のため観客入場者数は例年の半数と言うこともあり、痛みの相談コーナー・20名、骨密度測定・145名と昨年より少ない人数で終了しました。



新入会者紹介

4月

淀川／淀川　安田 真人
三島／茨木　川本 将広
三島／高槻・島本　中村 雅代
三島／高槻・島本　渡邊 仁一
豊能／豊中　小栗 健治
藤大／中央　荒藤 一朗
京阪／枚方　松本 啓志
今里／生野　吉田 浩二
東大阪／枚岡　堀川 将
天王寺／平野　松田 憲
貝塚／泉南　山下 敦史
和泉／高石　真鍋 達朗

5月

三島／吹田　渡邊 文子
三島／茨木　米田 龍史
三島／摂津　清水 淳志
福島／此花　菅原 八千代
天城／都島　本多 太諭
京阪／枚方　山地 泰輔
東大阪／枚岡　井倉 潤也
東大阪／枚岡　近藤 弘樹
天王寺／天王寺　辰巳 正高
天王寺／東住吉　山本 浩文
住江／住之江　志摩 好彦
堺／堺西　本田 隆二
堺／堺北　吉野 潤一
河南／松原　永木 博章
河南／松原　加藤 英樹
河南／松原　蒲池 鎮弘

6月

淀川／淀川　韓 由勝
三島／吹田　大谷 朋史
豊能／豊中　滝口 幸三
京阪／枚方　北岡 駕
京阪／寝屋川　伊藤 嘉則
京阪／寝屋川　小西 宏親
東大阪／布施　西澤 郁輝彦
東大阪／布施　片井 祐司
八尾／八尾　大河内 志月
天王寺／東住吉　泉池 直利

訃報

貝塚ブロック／泉佐野地区
北口 繁起 会員
平成20年4月30日

堀江ブロック／港地区
金村 進雄 会員
平成20年6月1日

には、薬石効なく逝去されました。
謹んでご冥福をお祈りします。

北京オリンピック直前
全日本女子柔道強化合宿開催

今年8月に開催される「北京オリンピック」に向けて技術の向上・体力の強化を図ることを目的に代表選手及び海外派遣候補選手を会して5月5日(月・祝)から10日(土)の日程で大阪柔整会館5階柔道場において行われた。

5日午後4時、日陰 暢年監督が阪本 武司会長に挨拶するため会長室を訪問された。

その後、選手たちの待つ道場へ向かい早速練習が開始された。

7日は合同取材及び公開練習があり、大いに活気があり北京オリンピックでの表彰台を独占する活躍を期待させるものであった。

【対談】

監督：日陰 暢年監督　会長：阪本 武司会長

会長室にて

会長　国民は谷選手のオリンピック3連覇を大いに期待していますが。

監督　現在、調整の段階ですが最終的には万全を期し、いけると思います。

会長　他の代表選手の調子はどうですか。

監督　調整中の選手が大半ですが3ヶ月で100%にもって行きます。

会長　今日は軽めの調整ですか。

監督　いえ、今日もしっかりと練習します。大阪柔整会館の柔道場は我々にとって縁起の良い場所でありいいスタートが切れると思います。また、畳みを新調してもらうなど要望も聞いていただき大変感謝しています。

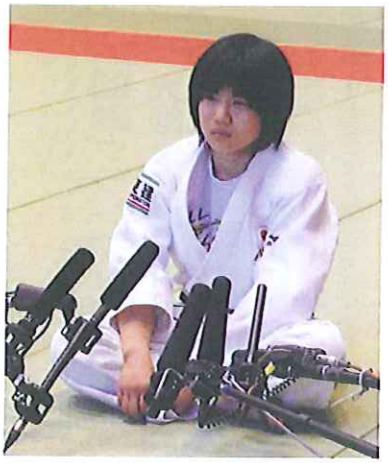
会長　全国の人が多くの金メダルを期待しております。

監督　選手全員一丸となり頑張ります。

（広報　荻澤 俊彦）

北京オリンピック代表選手

78kg超級　塚田 真希（綜合警備保障）
78kg級　中澤 さえ（綜合警備保障）
70kg級　上野 雅恵（三井住友海上火災保険）
63kg級　谷本 歩実（コマツ）
57kg級　佐藤 愛子（了徳寺学園）
52kg級　中村 美里（三井住友海上火災保険）
48kg級　谷 亮子（トヨタ自動車）



女子52㎏級　中村 美里選手

日本が今まで、一度も金メダルをてにしたことがない52kg級。初の世界代表に選ばれた中村 美里選手(19)が挑戦する。

大阪柔整会館での合宿は平成16年から恒例となり、今年で５回目。
代表７選手は精力的に練習をこなしていた。

合宿３日目の５月７日は、公開練習と合同取材。
午前の練習から、多くの報道陣が取材に訪れた。